

K-RELEASE

企業局情報通信
VOL.198

静岡県企業局
● 電話 054-221-2153
● F A X 054-251-5381
発行 令和2年11月25日

安全祈願祭を開催しました！

令和2年10月31日にセミ・オーダーメイド方式^{*}で事業を進めている「富士大淵工業団地」について、本格的な造成工事の開始を前に、工事関係者の安全と、工事の無事完了を祈願して、安全祈願祭が開催されました。

同工業団地は、新東名・東名の両高速道路に近接している極めてアクセス良好な工業団地であり、今後の富士市の発展を担うことが期待されています。

富士山の近くで硬い岩盤があることから、造成手法も一工夫。発想を転換し、国砂防事業の土（無償調達）をあえて持ち込むことで、溶岩掘削を極力減らし、コスト削減だけでなく、騒音、振動、粉塵の面からも周辺地域へ配慮した計画としています。

令和4年度の引渡しに向けて、安全に配慮し、整備を進めていきます。

※セミ・オーダーメイド方式とは、進出企業が未確定であっても市町が買取りを保證することで早期に事業着手し、迅速な用地供給と多様な区画を確保するものです。



▲松下企業局長「^{かりそめ}苜初の儀」



▲「富士大淵工業団地」造成地

【 事業概要 】

「富士大淵工業団地」造成事業

区 分	内 容	
造成事業	静岡県企業局	
企業誘致	富士市	
面 積	開発面積 : 5.7ha	分譲面積 : 3.7ha (6区画)
事業費等	総事業費 : 16億円	令和4年度完成予定

産業委員会県内視察が行われました

去る 10 月 19 日、静岡県議会産業委員会の委員による県内視察が行われ、企業局の施設では、平成 30 年 10 月に完成した工業団地「富士山麓フロンティアパーク 小山」を視察されました。

当日はあいにく雨天となったため、地域整備課長からの概要説明の後、バスの中からの現地見学となりましたが、委員の皆様には最後まで熱心に視察していただきました。

視察した藤曲産業委員会委員長からは、「静岡県内の見本となる工業団地。多くの新規雇用や投資が見込まれ、非常に期待している。」など当団地に対する期待の声が寄せられました。



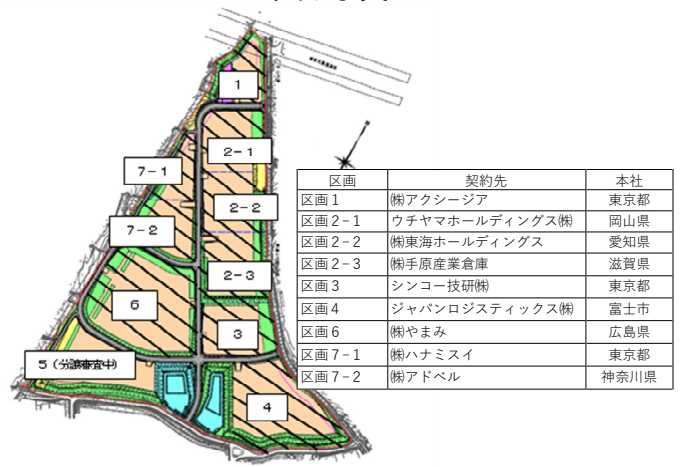
テント内での説明の様子



集合写真



現地の状況



分譲の状況

【富士山麓フロンティアパーク 小山】

「富士山を借景にした森に佇む工業団地」をコンセプトとし、富士山の景観や緑地の植生に配慮した全 10 区画、分譲面積 23.9 ヘクタールの工業団地です。

静岡県の東の玄関口小山町に位置し、首都圏に隣接。新東名高速道路の小山 PA スマート IC (2023 年度供用開始) まで 4 km の距離にあり、国道 246 号も至近という優れた交通アクセスが特長です。特に東名高速道路とのダブルネットワーク化による貨物輸送の定時性や安定性の向上が期待されています。

完成後 2 年で 9 区画を分譲済。進出企業 9 社で新規雇用 540 人、総投資額 250 億円の事業計画となっています。

進出企業 9 社のうち、8 社が県外企業（うち 7 社が県内初進出）であり、関東進出を狙う関西の企業や工場拡張をしたい首都圏の企業のニーズに対応。小山町としては、住民の新規雇用だけでなく、学生の U ターンや従業員の移住など人口減少対策としても期待しています。

「新型コロナウイルス『STOP！誹謗中傷』アクション」のお知らせ

新型コロナ STOP!

ひ ぼう ちゅう しょう
誹謗中傷



心のユニバーサル
デザインを進める
ふじっぴー

誰もが思いやりを持った行動がとれる
“心豊かなふじのくに”

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、医療従事者や感染者等への誹謗中傷が社会問題となっています。

誹謗中傷は、人権侵害や人の心を傷つけることにつながる行為であり、絶対に止めなければならない行為です。誰もが思いやりを持った行動がとれる“心豊かなふじのくに”を目指しましょう。

※「心のユニバーサルデザイン」とは、「相手の立場に立った思いやりある行動ができる」という意味です。

水道事業の業務状況(令和2年10月26日現在)

10月の使用水量は、前年度同期で駿豆水道は105.6%、榛南水道は101.7%、遠州水道は108.5%と増加し、全体では107.6%となっています。(単位：千m³、%)

水道名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			10月分	累計	10月分	累計	累計
駿豆	当該年度	100	3,100	21,500	888	6,190	28.8
	前年度同期	100	3,000	21,400	841	6,520	30.5
	前年度同期比	100.0	103.3	100.5	105.6	94.9	
榛南	当該年度	27	837	5,805	463	3,254	56.1
	前年度同期	27	810	5,778	455	3,272	56.6
	前年度同期比	100.0	103.3	100.5	101.7	99.4	
遠州	当該年度	292	9,055	62,802	5,065	35,546	56.6
	前年度同期	292	8,763	62,509	4,668	34,309	54.9
	前年度同期比	100.0	103.3	100.5	108.5	103.6	
合計	当該年度	419	12,992	90,107	6,416	44,990	49.9
	前年度同期	419	12,573	89,687	5,964	44,101	49.2
	前年度同期比	100.0	103.3	100.5	107.6	102.0	

工業用水道事業の業務状況(令和2年10月26日現在)

10月の使用水量は、前年度同期比で、柿田川工水は104.0%、東駿河湾工水は102.5%、静清工水は102.8%、西遠工水は103.5%、湖西工水は101.8%と増加しましたが、富士川工水は57.4%、中遠工水は89.1%と減少し、全体では99.6%となっています。(単位：千m³、%)

工水名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			10月分	累計	10月分	累計	累計
柿田川	当該年度	100	3,100	21,500	3,015	20,828	96.9
	前年度同期	100	3,000	21,400	2,898	20,696	96.7
	前年度同期比	100.0	103.3	100.5	104.0	100.6	
富士川	当該年度	46	1,417	15,474	484	4,122	26.6
	前年度同期	105	3,147	22,447	844	9,386	41.8
	前年度同期比	43.6	45.0	68.9	57.4	43.9	
東駿河湾	当該年度	367	11,388	78,968	7,678	52,369	66.3
	前年度同期	368	11,028	78,964	7,492	52,973	67.1
	前年度同期比	99.9	103.3	100.0	102.5	98.9	
静清	当該年度	52	1,550	10,874	981	7,418	68.2
	前年度同期	52	1,569	10,999	954	7,663	69.7
	前年度同期比	98.6	98.8	98.9	102.8	96.8	
中遠	当該年度	42	1,313	9,091	434	2,969	32.7
	前年度同期	42	1,272	9,078	487	3,340	36.8
	前年度同期比	99.9	103.3	100.1	89.1	88.9	
西遠	当該年度	35	1,061	7,444	670	4,396	59.1
	前年度同期	36	1,075	7,497	648	4,343	57.9
	前年度同期比	97.7	98.7	99.3	103.5	101.2	
湖西	当該年度	17	497	3,472	327	2,199	63.3
	前年度同期	17	496	3,508	321	2,298	65.5
	前年度同期比	100.1	100.2	99.0	101.8	95.7	
合計	当該年度	659	20,326	146,822	13,589	94,301	64.2
	前年度同期	720	21,586	153,892	13,644	100,699	65.4
	前年度同期比	91.5	94.2	95.4	99.6	93.6	